



ボランティア福祉活動 童謡唱歌教室 ～「リハセンターひばり」で童謡コンサート♪～



シルバーウィーク明けの9月24日、「リハセンターひばり」へ慰問。敬老の日のお祝いにと、童謡唱歌教室メンバー11人が童謡コンサートを開きました。昨年は久木野総合福祉センターへ出向き、今回で2回目。メンバーらは、50人ほどの利用者の方々の中に入り一緒に歌いました。教室の初めに必ず歌う「ふるさと」から始まり「雨降りお月さん」「月の沙漠」「喜びも悲しみも幾歳月」など10曲ほど歌い、最後は熊本のわらべ歌「あんたがたどこさ」を歌いました。最初は普通に歌いましたが、「次はゲーム感覚で頭の体操をしましょう」と、2回目は「さ」のところで手を叩き、3回目は「さ」の部分を抜かして歌いました。上手くいったり失敗したりと大いに盛り上がり、皆さん大変喜ばれていました。手拍子しながら一緒に歌う人、童謡を聞いて涙する人、学生の頃を思い出しながら歌う人、それぞれの思いや感動の中、日頃の表情とはまた違った笑顔があふれ、皆さんとても良い表情を見せてくれました。

「良かった～」「ありがとう!」「また来てください!」との喜びの声をたくさんいただきました。メンバーもまた良い経験になり、皆さんの笑顔から元気をもらい、「また来たいね!」「今度はどこへ行く?」と、意欲满满!どこでも出張(慰問)いたしますので、ぜひ呼んでください!

童謡唱歌教室: 毎月第4木曜日10時～12時 長陽中央公民館
一緒に歌を楽しみませんか♪メンバー募集!



クラブ会員交流会 ～H27子ども会員交流会「阿蘇の自然・環境学習」を行いました～

9月26日(土)、今年4月にオープンした阿蘇市の「阿蘇草原保全活動センター草原学習館」に、子ども会員他計40人が来館。子ども達に、自らの故郷である阿蘇について学び、郷土愛を感じてもらおうと企画。先人の知恵によって守り継がれてきた豊かな阿蘇の草原を知るととても良い学習となりました。

学習館には、阿蘇の地形に草原の場所を示すジオラマやあか牛の子牛の模型、パネルなどの展示スペースのほか、ボランティア研修などに使える作業スペースなどがありました。まず、ジオラマを囲んでのお話、杵島岳に実際に登った映像を見ながら、周囲の風景・近景の火口跡・カルデラについての説明、またあか牛についてなども学習しました。また、野焼きの時に使用する火消し「ジェットシューター」を実際に使って水を撒く体験も全員チャレンジ!これには子ども達も大喜びでした。

その後、「阿蘇ゆたっと村」へ移動し、自然豊かな景色の中、バーベキューを楽しみました。お腹いっぱい食べたあと、最後は大観峰へ。元気に駆け上り雄大な阿蘇を満喫。中には頂上まで2往復する元気いっぱいの子ども達も。気持ちの良い秋晴れの中、とても楽しく有意義な交流会となりました。

